

温室メロン病害虫防除暦
防除体系(登録薬剤)

JA庄内たがわ令和6年度(2024)版
2023年12月06日時点の農薬登録情報をもとに作成

防除時期	主な対象病害虫	登録農薬名	希釈倍数・使用量	水100%当たり 薬剤量	使用時期	使用回数	RACコード	備考	
定植前	つる割病・黒点根腐病	ガスタード微粒剤(劇)	20~30kg/10a		播種又は定植21日前まで	1回	I:8F、F:M03	均一に散布し土壌と混和する	
	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤	15~20kg/10a		定植前	1回	I:1B	全面土壌混和	
育苗期	つる枯病・べと病・斑点細菌病	ジマンダイセン水和剤	400~600倍	166~250g	収穫7日前まで	5回以内	F:M03		
	アブラムシ類	マラソン乳剤	2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	3回以内	I:1B		
定植時	アブラムシ類、アザミウマ類	アドマイヤー1粒剤	1~2g/株		定植時	1回	I:4A	植穴又は株元土壌混和	
	コナジラミ類		2g/株					植穴土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	ベストガード粒剤	1~2g/株		定植時	1回	I:4A	植穴処理土壌混和	
生育期 (殺菌剤)	つる枯病	トップジンMペースト	原液塗布		発病初期(ただし収穫21日前まで)	1回	F:1	※発病初期	
	うどんこ病	トリフミン水和剤	3,000~5,000倍	20~33g	収穫前日まで	5回以内	F:3] 合わせて5回以内	
	陥没病		3,000倍	33g					
	うどんこ病	トリフミンジェット(劇)※①	400㎡当たり50g		収穫前日まで	5回以内	F:3		くん煙剤
	うどんこ病・斑点細菌病	カスミンボルドー	1,000倍	100g	収穫3日前まで	5回以内	F:24、F:M01		
	うどんこ病	モレスタン水和剤※②	2,000~4,000倍	25~50g	収穫3日前まで	10回以内	I:UN、F:M10	※高温時薬害注意 煙霧と散布、合わせて10回以内	
	つる枯病・菌核病	ロブラール水和剤	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	F:2		
	つる枯病・陥没病	トップジンM水和剤	1,500~2,000倍	50~66g	収穫前日まで	3回以内	F:1	※前日までの登録ですが、収穫間際の使用は避けてください。	
	つる枯病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,000倍	100g	収穫前日まで	5回以内	F:M07] 合わせて5回以内	
	つる枯病・ハダニ類・アザミウマ類	ポリベリン水和剤	1,500倍	66g	収穫前日まで		F:M07		※高温時薬害注意
	うどんこ病		1,500~2,000倍	50~66g			F:19		
	つる枯病・うどんこ病・べと病	アミスター20フロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	4回以内	F:11	※展着剤は加用しない	
	つる枯病	ダコニール1000	1,000倍	100ml	収穫3日前まで	5回以内	F:M05	※交配後30日以降	
	べと病		700~1,000倍	100~142ml					
生育期 (殺虫剤)	トマトハモグリバエ・タバココナジラミ類	カスケード乳剤	2,000倍	50ml	収穫7日前まで	3回以内	I:15		
	ミナミキイロアザミウマ		2,000~4,000倍	25~50ml					
	アザミウマ類・ウリノメイガ・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	20g	収穫前日まで	2回以内	I:5		
	アザミウマ類・ウリノメイガ・オオタバコガ・コナジラミ類 ハスモンヨトウ・ハダニ類・ハモグリバエ類	グレーシア乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:30		
	アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5,000倍	20g	収穫3日前まで	4回以内	I:9B		
		モスピラン顆粒水溶剤(劇)	8,000倍	12.5g	収穫3日前まで	3回以内	I:4A	ネオニコチノイド(ミツバチへの影響を考慮し、着果後に使用)	
	アブラムシ類・ハダニ類・タバココナジラミ類	アディオン乳剤	2,000~3,000倍	33~50ml	収穫前日まで	5回以内	I:3A	合ピレ	
		テルスター水和剤	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	I:3A	合ピレ	
	アザミウマ類	アフーム乳剤	1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	2回以内	I:6		
	ウリノメイガ・ハモグリバエ類		2,000倍	50ml					
	ハダニ類	マブリックジェット(劇)	400㎡当たり50g		収穫3日前まで	2回以内	I:3A	合ピレ くん煙剤	
		ダニロンフロアブル	1,000~2,000倍	50~100ml	収穫前日まで	1回	I:21A		
		カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	66~100ml	収穫前日まで	1回	I:20B		
		バロックフロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:10B		
ハダニ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類	コロマイト乳剤	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	I:6	展着剤使用しない		

※使用時期の「収穫の前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

※①トリフミンジェットは交配2~3日前から交配20日後までの幼果期には薬害を生じるので使用を避ける。

※②モレスタン水和剤を煙霧用として使用する場合、常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。

作業終了後は6時間以上経過してから開放する。 100g(5%)/10a 収穫3日前まで 散布と合わせて10回以内

【合成ピレスロイド剤使用上の留意点】

※合成ピレスロイド剤(合ピレ)は、使用回数が多いと、抵抗性害虫が出現する可能性があるため、使用回数には注意してください。(使用は発生が多い場合にするなど、控えめに。)

☆適正管理について! ☆

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 適切な栽植密度とし、通風・作業性をよくしてください。
3. 圃地の適切な排水管理に努めてください。
4. 病害虫の温床となるものについては随時・適切に処理してください。
5. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
6. みつばちへの配慮を行う。

防除器具の農薬残留に留意!!

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整後にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。